

学校教育目標と令和6年度の重点目標（林野高校グランドデザイン）

学校教育目標	校訓「すべては光る個性の輝き」 ・知性と教養を身につけ、豊かな心と健全な身体で、自立の精神を有し、個性を生かした地域や社会に貢献できる人材の育成を図る。 ・論理的な思考力、創造力、課題発見、解決能力を持った自立型人材を育成する。 ・自主的な社会参加を通じて、対人関係能力や望ましい人としての生き方を体得させる。
令和6年度重点目標	○日本ICT教育トップランナー校として、さまざまな場面でICTを活用し、主体的・対話的で深い学びを実現する。 ○資質・能力の育成を基盤とした授業改善を進め、個別最適な指導を行う。 ○生徒自身が主体的、計画的に取り組む活動等を展開する。 ○生徒自身が社会との関わりの中で、自らの生き方を考え進路を実現することができるように指導する。 ○「開かれた学校」の観点から、小中学校・地域との連携や姉妹校との国際交流などを通じて生徒の豊かな人間性を育成する。 ○組織的で効率的な学校経営や個人の意識改革を進め、業務の負担軽減を図る。

生徒の実態	育てたい生徒像
・地域に愛着を持ち落ち着いた学校生活を送っている。 ・生活(学習や特別活動など)を改善しようとする姿勢があるが、方法等が定着しない生徒も見られる。 ・主体的で、協働的な学びや活動が乏しい面もある。 ・地域の不便さから自らのキャリアを形成しにくい生徒が見られる。	○知識や技能を身につけ、さまざまな場面で有効に活用することができる生徒。 ○急激に変化する時代の中で、自己や他者を認め、多様な人々と協働しながら様々な社会的変化を乗り越え、持続可能な社会の創り手となることができる生徒。 ○主体的に目標を設定し、振り返りながら、責任ある行動がとれる生徒。

豊かな人間性
○特別活動や学校行事等の充実。 ○体験的活動や芸術鑑賞の実施。 ○社会貢献活動の充実。 ○グローバルマインドの育成。

健康・体育
○基本的な生活習慣の確立。 ○身の回りの生活・社会や食に関心を持つ。 ○体育や健康に関する実践の充実。

資質・能力
主体的に学び続ける力。 地域や社会の課題を発見し、解決しようとする力。 自己や他者を理解し、チームに貢献する力。

学校生活の基本(何が出来ようになるか)	学習評価を通じた学習指導の改善(何が身についたか)
○習得すべき知識や技能が身につく。 ○活用を通じて、学び続けるマインドを持つ。 ○課題を発見し、解決することができる。 ○多様な価値を認めることができる。 ○チームに貢献するマインドを持つことができる。 ○見通しを立てることができる。	○多様なスキルを使って評価の実施。 ・学びの振り返りによる評価。 ・リフレクションペーパーやOPPA、行事作文などの実施。 ・生徒相互による評価。 ・思考を促すテスト開発・実施など。 ○評価による指導改善の具体化と実行。 ・成績会議や認定会議の活用。

教育課程の編成(何を学ぶか)
○教育課程や授業、総合的な探究の時間、特別活動の計画的実施 ・「知識技能の習得」「思考力表現力判断力」「学びに向かう力」の三つの観点を意識する。 ・教科目間の関連を明らかにする。 ・グローバルな視点を入れた教育課程。

教育課程の実施(どのように学ぶか)
○生徒の思考力・判断力・表現力を育む活動を展開する。 ・知識や技能の習得をめざす。 ・様々な場面で思考を促す活動。 ・様々な考えをまとめたり、表現する活動。 ・ICT機器を用いた特徴的な活動の展開。

実施するためには何が必要か (指導体制の充実、環境整備、家庭や地域との連携・協力、開かれた学校)	生徒をどのように支援するか (どのような配慮が必要か)
○指導体制における教職員の連携・協力。 ○地域(美作市など)や保護者との連携・協力(継続)。 ○大学や研究機関、卒業生等との連携協力を構築する。 ○HPや広報誌、TV番組等での情報発信の頻度をあげる。	○きめ細やかな面接や充実した相談体制。 ○学年会や運営委員会、職員会議等での情報共有。